



宗 像

1月祭事暦

- 1月1日 歳旦祭
午前7時 総社地主祭
午前9時 総社祭
(総社前に引き越す) 高宮地主祭
高宮祭
第二宮・第三宮祭
末社祭
- 1月2日 午前9時 新年祭
- 1月3日 午前9時 元始祭
午前10時 宗像護国神社
新年祭
- 1月10日 午前10時 恵比須神社祭
- 1月13日 午前11時 献米奉告祭
- 1月15日 月次祭・成人祭
午前10時 高宮祭
第二宮・第三宮祭
午前11時 総社祭・成人祭

平成十七年・乙酉 年頭挨拶



宗像 大社 宮司 神 島 定

輝かしい平成十七年の初春を迎え、謹んで皇室の弥栄と国家の安泰併せて氏子崇敬者皆様方の益々の御繁栄と御健勝をお祈り申し上げます。

旧臘朔日、皇孫敬宮愛子内親王殿下には三歳の御誕生日をお迎え遊ばされ、更に紀宮清子内親王殿下には、黒田慶樹氏との御婚儀が発表され日本中が暖かい雰囲気包まれました。皆様と共にこの御慶事を奉祝したいと存じます。

また神宮大宮司が畏くも天皇陛下より御聴許を賜り、国を挙げての重儀であります第六十二回神宮式年遷宮(平成二十五年御齋行)

の準備が愈々開始されること成り、斯界は一丸となり取り組む所存でございます。

平素より皆様方の真心からなる御奉賛・御支援を賜り、お陰をもちまして昨年も当大社の諸祭儀及び諸行事を滞りなく順調に執り行うことができました。ここに深く感謝し厚く御礼申し上げます。

平成十六年を顧みますと、世界ではイラク戦争の長期化やアラファト議長死亡によるパレスチナとイスラエルの関係など、中東情勢は更に混迷を深め予断を許さない状況です。

アジアでは北朝鮮による日本人拉致被害に対する相変わらずな対応、中国による我が国海域での領海侵犯と、周辺各国との関係も複雑な様相を呈すものとなっております。

国内においては、十月二十三日夕方に震度五弱以上を十一回、震度六強を三回も記録する大規模な直下型地震「新潟県中越地震」が発生しました。生活基盤に甚大な被害・影響を及ぼし、多くの人々が現在も避難生活を強いられており、心よりお見舞い申し上げます。

また昭和二十六年からの観測史上最多の十個の台風が上陸しました。それまでが六個(平成二年・五年)ですので、今年は異常現象であつたようです。気象庁では六月から十月ま



での長期間、太平洋高気圧が日本に向けて張り出したままであり、その縁を廻つて次々と台風が上陸したと発表しております。(二面へ)

謹んで新年の御祝詞を申し上げます

平成十七年 元日

宗像大社責任役員会

代表役員 神島 昭介
責任役員 出光 昭茂

監事 藤田 茂令
久保 道

宗像大社氏子会

会長 安部 照生
副会長 佐藤 千生
岩佐 昭正
城野 寅夫
古風敦清文
中野 政文
野村 政夫
大嶋 義信
野村 和敬

宗像大社 沖中宮奉賛会

会長 佐藤 千生
副会長 古賀 理
神西 敏明

宗像大社職員

宮司 神島 定
権宮司 高向 正秀
権宜 堤 宏

管理員 福田 祥子
白澤 佳里
岩佐 光二
吉田 弘
吉田 仁
井上 光生
奥宮 種男
廣橋 康子
阿部 和代
吉武 洋子
竹本 百香子
西野 百香子
吉武 律子

權禰宜 權禰宜
伊藤 幹之
津田 秀和
波邊 秀丸
杉山 安彦
佐々木 大治
中原 裕生
坂本 敬
御床 直之
大塚 宗延
飛来 孝佳
藤友 貞治
藤田 明宏
飯田 明宏

事務員 西野 百香子
非常勤管理員 吉武 律子
非常勤事務員 力丸 正輝
福崎 行子
福崎 加代子

巫女 重住 真貴子
巫女 重住 真貴子
夜警員 藤井 啓子
嘱託 橋 正信
吉田 義秀
門司 成人
中野 正幸
石井 忠
河津 泰津子
非常勤講師 小方 百枝
大野 展男

非常勤講師 小方 百枝
大野 展男

巫女 重住 真貴子
巫女 重住 真貴子
夜警員 藤井 啓子
嘱託 橋 正信
吉田 義秀
門司 成人
中野 正幸
石井 忠
河津 泰津子
非常勤講師 小方 百枝
大野 展男

非常勤講師 小方 百枝
大野 展男

巫女 重住 真貴子
巫女 重住 真貴子
夜警員 藤井 啓子
嘱託 橋 正信
吉田 義秀
門司 成人
中野 正幸
石井 忠
河津 泰津子
非常勤講師 小方 百枝
大野 展男

非常勤講師 小方 百枝
大野 展男

巫女 重住 真貴子
巫女 重住 真貴子
夜警員 藤井 啓子
嘱託 橋 正信
吉田 義秀
門司 成人
中野 正幸
石井 忠
河津 泰津子
非常勤講師 小方 百枝
大野 展男

非常勤講師 小方 百枝
大野 展男

巫女 重住 真貴子
巫女 重住 真貴子
夜警員 藤井 啓子
嘱託 橋 正信
吉田 義秀
門司 成人
中野 正幸
石井 忠
河津 泰津子
非常勤講師 小方 百枝
大野 展男

非常勤講師 小方 百枝
大野 展男

巫女 重住 真貴子
巫女 重住 真貴子
夜警員 藤井 啓子
嘱託 橋 正信
吉田 義秀
門司 成人
中野 正幸
石井 忠
河津 泰津子
非常勤講師 小方 百枝
大野 展男

非常勤講師 小方 百枝
大野 展男

当宗像地方も台風が通過しましたが、幸い大神様の御加護をもちまして御社殿・神域に大きな被害はございませんでした。

昨年の作柄は、各地で稲が倒れ近年にない不作となりましたが、当大社神田では倒れる稲も少なく若干影響を受けましたが、幸いにも年中祭事における供料は確保することができ、天地の神々に深く感謝致しております。

社内では、二月に大寒波が北部九州を襲う中、出光興産(株)社員の宗像大社研修が復活しました。この全国でも極めて稀な神社での研修は、「出光店主室教育研修」と称し、三十年以上に亘り平成十四年まで続けられてきましたが中断、社員の強い要望により「出光中堅社員研修」として二月に復活致しました。二月、九月、十一月と開催され、約九十名の出光社員が当大社で研修を行いました。

また、地元田島の氏神である氏八満神社では、御社殿の老朽化に伴う御修復改築工事が年頭初より行われ、今月号の紙面の通り十一月末に完成致しました。社殿修復にあたり、田島区住民は十余年間に亘る浄財の積み立てを行い、この度念願であった清々しい御社殿が竣工致しました。

八月末には第四十五期王位戦第四局の対局が当大社「勅使館」にて行われ、谷川浩司・羽生善治両棋士が熱戦を繰り広げました。この一戦で勝利した羽生氏が波に乗り、続く神戸の第五局も制し、第四十五期王位

に復位しました。

この平成十七年は神郡宗像においても、一月二十四日に福岡町と津屋崎町の合併、続いて三月二十八日には大島村の宗像市への編入合併が決まっております。皆様には既に御高承の通り、当大社は沖・中・辺津宮の三宮から成っておりますが、行政区域は社務本局を置く辺津宮が宗像市で、沖・中津宮は大島村です。これが合併により、三宮とも宗像市となり行政上でもまさに三宮一体となります。一昨年の玄海町と宗像市の合併に続いて、今年には真に「宗像市の宗像大社」になります。

また例年五月二十七日には沖ノ島において、明治三十八年の日本海海戦をトして「沖津宮現地大祭」を斎行しておりますが、本年は沖ノ島近海にて海戦史上、世界でも例のない勝利を取めた年から一〇〇周年を迎えます。自衛隊のイラク派遣延長、改憲論争で揺れる我が国の今後は憂慮すべき事態であります。確実に日本の窮地を救ったあの一戦を顧みる絶好の機会とすべき意義ある年と思えます。

今日、民族・宗教・習慣の違い、様々な利害が絡み世界各地で紛争が起き、地球規模での異常気象が頻繁に発生しています。人間の愚かさ無力さを痛感させられることばかりですが、今一度「自然」に畏敬の念をもち、「神への感謝」を連綿と継承してきた、日本人の姿を見直す時期にきていると思えます。

宗像大神の御神徳が遍く光被され、今後一日も早くこれらの諸問題が速やかに解決するとともに、御崇敬の皆様にとつて良い年で有りますことを御祈念申し上げて、新春の御挨拶と致します。



GA

画像情報企業

株式会社 ゼネラルアサヒ

〒812-0064

福岡市東区松田3丁目777番地

TEL 092-611-8311

デザイン・コンビニ

うりせつ

www.urisetsu.com

GA

デジタルグラフィックス研究所

kinko's

古式祭・鎮火祭齋行



「古式祭」

師走十二日(日)、八〇〇年の伝統を持つ「古式祭」が斎行された。

この神事は当大社御神前で行われる祭典と、清明殿で行われる「御座」の二つで構成され、神饌(御供え物)は神職だけではなく地元宗像市田島・江口区民、地元総代等が一丸となって調製し、御座は田島区内八班の氏子が毎年交代で奉仕する(今年は宿ノ谷班)という宗像地方独自の神事である。



班長、地元総代が参列し齋行された。

御神前には、ミカンの原種である「九年母」、同市の江口浜にこの時期しか打ち上げられない「ゲバサモ」と呼ばれる海藻など、この祭典だけに調製された特殊神饌が供えられた。

一方、清明殿入口には午前五時三〇分から売り出される「御座券」をもとめ、午前五時頃から参拝者の列が出来た。御座一番座は祭典後の午前六時三〇分から始まり、参列者は先程の祭典で神前



籠(神社に泊まり、世俗との関わりを断つこと)した

神島宮司以下神職が奉仕し、宗像市田島・江口区長、御座の当番班の

にお供えされた特殊神饌と同じものを用いた平素口にするのでできない御膳に舌鼓を打ちながら、今年の豊作に感謝し神人和楽の一時を過ごした。

「鎮火祭」

同日午前十時からは、鎮火祭が斎行された。祭典の中では、古式ゆかしく火打石で忌火を起こし、ヒョウタンで水を汲み火に注ぎ忌火を鎮め、その上に赤土をかけ川葉で覆う「鎮火の儀」が行われた。

迦具土神の荒びを鎮め、その災いを受けることの無いようにと、火災の絶無と消防関係者の安全を祈り、宗像市・郡内の消防関係者をはじめ、県議会議員、市町村長、警察関係者、氏子代表者らが参列し、敬虔な祈りを捧げた。



地図を見よう! 地図を遊ぼう!



ゼンリン 地図の資料館

リバーウォーク北九州14階
北九州市小倉北区室町1-1-1
TEL(093)592-9082

- ◆開館時間/10:00~17:00(入館は16:30まで)
- ◆休館日/土曜・日曜、祝日、年末・年始・夏期休業日
- ◆入館料/大人(高校生以上)100円、小人(中学生以下)無料

氏八満神社正遷座祭



田島区の産土神である氏八満神社の正遷座祭が十一月二七日に、翌二八日に改築竣功奉告祭が斎行された。

宗像市田島の宗像山の中腹に鎮座する同社は、永禄八年(一五六五)の創立といわれ、ご祭神は菊姫(第七八代宗像大宮司氏雄の室)、山田の局(第七七代宗像大宮司正氏の後室)、侍女四柱(花尾局・小夜女・三ヶ月・小少将)。併せて上高宮、稲庭上神社、中殿社、貴船神社が合祀されている。

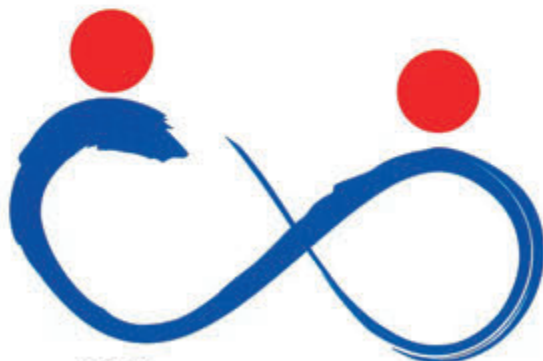
氏八満神社の本殿・拝殿の改築工事は、一月二四日に仮殿遷座祭が行われ、御神体を仮殿に御奉安した後、株式会社弘江組により解体・建設作業が進められ四月二日には本殿の立柱祭、上棟祭が、七月二五日には拝殿の上棟祭が斎行された。本殿の屋根は瓦葺きから元の銅版葺きに施工。拝殿は、大正時代合祀された稲庭上神社の拝殿が合一されたもので非常に大きなものであったが、今回、元の拝殿の規模に戻された。境内には宗像市の天然記念物で樹齢三〇〇年といわれる古い楠があり森厳な鎮守の森となっている。その為

か二〇段の石段は大木の根により歪んだり破損し大変歩き辛い状況となっていた。その為、付帯工事として、石段の整備と新たに手摺が設置された。又境内の森はこれまであまり手を加えていない為、竹が繁殖し日中も薄暗い状態であったが改築建設委員会・氏子の作業奉仕により明るく清々しく甦った。

十一月二六日には新殿清祓の儀が、翌二七日、午前十一時より新殿祭が斎行され本殿の四隅には御富枝玉が掛けられ、米・切麻・清

酒で清められた。

同日、午後五時より正遷座祭が斎行された。定刻、氏八満神社改築建設委員会、区長、総代、氏子崇敬者参列のもと、仮殿である宗像護国神社に氏八満神社高向宮司以下祭員四名、株式会社弘江組花田社長以下三名の奉仕員が参進。修祓、祝詞奏上、玉串拝礼につづき遷座の儀が行われ、御神体は二基の御舟代にお移しされ、満月の明かりの中、警蹕の声とともに厳かに行列はつづき、新たに整備された二〇段の階段を登り新殿に御神体は御奉安された。引き続き、献饌、祝詞奏上とつづき玉串拝礼がおこなわれ、宮司、改築建設委員会吉武委員長、区長、総代長、氏子代表が玉串を捧げ遷座祭は滞りなく厳肅裡に終了した。



響きあって九州

あなたとともに西日本新聞

創刊130周年

本社
〒810-8721 福岡市中央区天神1丁目4番1号
TEL092(711)5555(代)
FAX092(711)5152

東京支社
〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-7福岡ビル
TEL03(3273)8585
FAX03(3273)8586

大阪支社
〒541-0041 大阪市中央区北浜3-1-21松崎ビル
TEL06(6202)6351
FAX06(6202)6356

北九州支社
〒803-8515 北九州市小倉北区田町19-5
TEL093(561)1131
FAX093(561)7793

 西日本新聞社

新年を迎えるにあたり大注連縄を架け替え



新年を迎えるにあたり御本殿・第二宮・第三宮の大注連縄の取り替えが行われた。注連縄奉製作業はまず「藁すぐり」から始められる。十月の初旬に刈取った稲を懸稲(畦)

竣功奉告祭が斎行された。御簾・案・注連縄等新たに新調された清々しい本殿のご神前には、海の幸、山の幸、紅白餅、清酒が供えられ祝詞が奏上された。最後に玉串拝礼の儀が行われ、改築建設委員会吉武正行委員長、田島区の吉武区長、宗像大社神島宮司、氏八満神社吉田総代会長、工事関係者代表として株式会社弘江組花田社長、氏子崇敬者・参列者代表として深田幸夫氏が玉串を捧げ竣功奉告祭は終了した。続いて田島区公民館において関係者多数出席のもの

と祝賀会が行われ、吉武委員長よりこれまでの経過が報告され、御協賛を頂いた皆様にお礼の言葉と、この事業に尽力された方々に対し感謝の言葉が述べられ、そして施工にあられた株式会社弘江組花田社長・笹見棟梁に感謝状が贈呈された。この後祝宴と続き、祝賀会は盛会裡に終了した。この度の、改築事業に対しては、氏子・崇敬者の篤い御奉賛により四四〇年ぶりに御創建の往時の姿に御社殿は厳かに甦りました。鎌倉時代の貞永式目の中にあるよう

に「神は人の敬により威を増し、人は神の徳により運を添ふ」と言われています。今後とも篤い崇敬のもと御神威が発揚され、氏子・崇敬者益々の御隆昌をお祈りいたします。



神社との縁りも深く、日本文化の礎をなす生業に携わっている為か話も弾み、終始和やかな雰囲気のうち終了した。

この奉製作業では、近年稲作の機械化により次第に「藁」の入手が困難になっていたが、平成八年初夏当大社御神田での稲作が復活、秋には神饌米の収穫を得、以来不足がみだった藁の心配もなくなっている。

この新調された大注連縄の特色は、藁がバラけないようにと漁師のアイデアで、ブリ漁に使う透明のテクスが等間隔で美しく巻かれている。

初詣で御参拝の際は、農家と漁師の共同で奉製された当大社の大注連縄もご覧下さい。



崇敬者管理システム導入をご検討なら

CORE Plus®

総合業務システム——コアプラス

にお任せください!!(実績多数有り)

お問い合わせは

日本事務器(株) 九州支社

福岡市博多区奈良屋町6-36

TEL:092-281-4036

FAX:092-291-7437

URL:http://www.njc.co.jp

第三回 出光興産(株) 中堅社員研修
宗 像 大 社 研 修 開 催



第三回出光興産(株) 中堅社員研修の宗 第三回出光興産(株) 中堅社員研修の宗像大社研修が、十一月二十六、二十七日の二泊三日で行われ、研修生三十人と本社人事部木部教育課長以下二人の計三十三人が大社で過ごした。

三十年以上に亘り六十五期まで続けられた「店主室教育研修」を継承し、店主(創業者)出光佐三氏(緑の地宗像で、今後の同社を背負う中堅社員を対象に実施された。

十一月二十六日(一日)

- 一三〇〇 全国各地から研修生が、当大社清明殿に参集し受付。
- 一三〇一 開始奉告祭に参列後、研修日程に入る。
- 一三〇二 神島 宮司開講挨拶
- 一四〇〇 宇野 人事部次長講話
- 一五〇〇 出光人事部担当主任説明
- 一六〇〇 白衣・白袴の着け方、潔斎
- 一六〇一 神社祭作法(朝拝演習)
- 一九〇〇 鎮魂
- 一九〇一 入浴・就寝

研修はまず、境内で過ごすにあたり白衣白袴の着け方から入ったが、初めて着装する白衣・白袴、作法に戸惑いながらも、何とか潔斎を終え、朝拝での「大祓詞」を奏上出来る

ところまで終える。一日の締め括りは高宮斎場での「鎮魂」。研修生も勤務先の先輩から耳にしている、この研修の山場である。生憎の雨で、急遽会場を変更して拝殿で行った。高宮よりも板間である拝殿の方がかえって痛みがあつたか、多くの研修生が足を痺らせて立てず

十一月二十七日(二日目)

- 六〇〇 起床・洗面・潔斎
- 七〇〇 朝拝準備、境内清掃
- 七〇一 朝拝
- 八〇〇 神宝館見学
- 九〇〇 記念撮影
- 一〇〇〇 小柳陽太郎先生講話
- 一三〇〇 筑前大島渡島
- 御嶽宮参拝
- 御嶽宮参拝
- 御嶽宮参拝
- 一九〇〇 鎮魂

その後、各班毎に順番で入浴し就寝。研修生のうち、当大社に来社するのはほぼ全員が初めて。神宝館では、約一〇〇〇点の国宝を含む十二万点の国宝・重要文化財を通して、我国の草創期における宗像大神の役割と歴史を感じていただいた。小柳先生の講演後、昼食を挟んで午後からは、白衣白袴からスーツに着替え、大島へ渡島。中津宮・沖津宮参拝所、御嶽宮を参拝。天候は良好であったが、霧がかかっており、残念ながら遥拝所、御嶽宮(山頂)とも沖ノ島を拝すことは叶わなかった。帰社後、夕食をとり、当大社の御由緒・

謹んで新年の御祝詞を
申し上げます
平成17年 元旦

ハナダ写真館
代表 山下 隆義

〒811-3436 宗像市東郷2丁目2-1(宗像市役所前)
電話・FAX (0940)36-2009【代表】



福岡ダイハツ販売株式会社
内山 邦彦

〒812-0007 福岡市博多区東比恵4丁目10番11号
電話(092)411-1330【代表】



福岡国際
カントリークラブ

〒811-4146 福岡県宗像市大字朝町1470-1
電話(0940)32-3544【代表】



社団法人 日本自動車連盟九州本部
本部長 金子 宜嗣

〒814-0015 福岡市早良区室見5-12-27
電話(092)841-7676【代表】



玄海ゴルフクラブ

〒811-3502 福岡県宗像市江口578-18
電話(0940)62-2233【代表】
FAX(0940)62-2728





日供祭並びに研修修了奉告祭に参列。朝食後、着替え、荷物整理をし午前九時三〇分社務所前に整列。神島宮司以下神職・巫女・管理員・調理員・事務員ら全職員で見送り

神社神道についての講義を受けていただき、昨日、今日と見て聞いて体験していただいたものを、裏付けていただいた。
鎮魂は晴れていたため、会場を高宮齋場とし参道を懐中電灯の灯りを頼りに、百八段の石段を進んだ。玉砂利に正座し、「大祓詞」を奏上し、鎮魂に入る。今日は下が砂利のためか、足を痺らす方も昨日に比べて少なかったように思った。

十一月二十八日(三日目)

- 六:〇〇 起床・洗面・潔斎
- 七:〇〇 朝拝準備・境内清掃
- 七:三〇 朝拝(研修終了奉告祭)
- 九:三〇 出発

店主生家見学
創業の地門司見学
千葉・平川寮へ移動



を受け、次の研修地へ出発された。
その後は、宗像市赤間の店主墓参、創業の地門司を見学し上京。千葉の平川寮で二十日まで十日間の研修に入ることとなった。



研修生の皆様は、勤務先の中堅社員として忙しい日々を過ごしておられ、この人が抜けたら仕事が回らないという方ばかりだと思ふ。研修開始直後の自己紹介挨拶で、「忙しい中を調整し参加させてくれた職場の皆に感謝し、移りある研修にしたい」と言われた方がいた。中にはこれ程社を離れるのは入社以来初めてという方が大勢いたし、実際直前で不参加の方もいた。
神社で寝泊りする。白衣・白袴を着装する。大祓詞、鎮魂、諸々の体験が初めてであったと思ふ。この宗像大社での研修を、生かすか生かさないかは自分次第である。
二泊三日という短期間であったが、この宗像大社で過ごした時間が、研修生の日々の生活で、一人一人の長い目で見た今後の人生でお役立つことを切に願う。
研修生皆様の今後益々の御健勝と御活躍をお祈り申し上げます。



謹んで新年の御祝詞を申し上げます

福岡トヨタ自動車株式会社

取締役社長 古賀 善之
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4丁目8番28号
電話(092)761-3331

トヨタカローラ福岡株式会社

代表取締役社長 有田 耕一
〒810-8603 福岡市中央区長浜2丁目1番5号
電話(092)712-7111

ネットトヨタ北九州株式会社

取締役社長 卜部 典昌
〒806-0041 北九州市八幡西区皇后崎町14番6号
電話(093)642-2111

福岡トヨペット株式会社

代表取締役社長 瀧山 勝久
〒812-0008 福岡市博多区東光1丁目6番13号
電話(092)411-1121

トヨタカローラ博多株式会社

取締役社長 久恒 兼孝
〒812-0042 福岡市博多区豊2丁目3番50号
電話(092)441-2111

新年祈願祭のご案内

元旦午前零時～ 一番祈願祭 以後随時斎行

日本書紀で「道主貴(あらゆる道に通じる最高神)」と称される宗像三女神様の下で、
新しい年の初めに、ご家族で、職場で御祈願をお受下さい。

「諸祈願祭」(※1)

場 所 本殿 または 儀式殿

初 穂 料

会社・団体 10,000円～

家庭・個人 5,000円～

(初穂料により、授与品が変わります)

授 与 品 神札 又は 御守、紅白御幣、
供物、御神酒など

「交通安全」

場 所 祈願殿(大駐車場前)

初 穂 料

大型車 6,000円

普通車 5,000円

二輪車 3,000円

授 与 品

水引守(大)、紅白御幣、供物

※1「諸祈願祭」

〈会社・団体〉 業務安全・業務繁栄・商売繁盛・交通安全・海上安全など

〈家庭・個人〉 家内安全・厄年祓・厄除祈願・心願成就祈願・学業成就・試験合格祈願・
初宮詣・良縁祈願



謹んで新年の御祝詞を申し上げます

玄海国定公園の中心
一風光明輝、生魚料理、宗像大社となり—
玄海ホテル旅館組合

海

国民
宿舎
ひびき

☎ 六二一九四〇
六二二一二八八

みな
と 荘

☎ 六二一九四〇
六二二二二五五

松
風 荘

☎ 六二一九四〇
六二二〇二二〇

は
ま 荘

☎ 六二一九四〇
六二二〇五〇〇

は
な
わ
ら
び

☎ 六二一九四〇
六二二一五五六

高
嘉
旅
館

☎ 六二一九四〇
六二二二二二二

神
湊
ス
カ
イ
ホ
テ
ル

☎ 六二一九四〇
六二二一三八〇〇

玄
海
ロ
イ
ヤ
ル
ホ
テ
ル

☎ 六二一九四〇
六二二一四一一

玄
海
旅
館

☎ 六二一九四〇
六二二一〇〇〇一

魚
屋
別
館

☎ 六二一九四〇
六二二一三三五五

魚
屋
本
店

☎ 六二一九四〇
六二二二二二二

泉
館

☎ 六二一九四〇
六二二〇〇三五



こまつおさめしよ 古札納所の御案内

1年間お護りいただいた古い御守・御札は、神門前の「古札納所」でお受けいたします。

当大社では巫女がご参拝の皆様より手渡しでお受けするようしております。

お護りいただいた感謝の念を込めましてお返しいただき、新たな御守・御札をお受けいただきますよう御案内申し上げます。

尚、古札として納所でお受けするのは左記の通りです。

- ・御守・御札
- ・縁起物(破魔矢・熊手)
- ・正月飾り(注連縄)
- ・神棚

特に陶器・ガラス・金属製のものは、お焚き上げできませんので御遠慮下さい。

御不明の点は、境内の各職員にお問い合わせ下さい。



節分祭の御案内

日 時 二月三日(木)
節 分 祭 午前10時～
豆 打 ち 式 祭典終了後～
場 所 祈願殿(大駐車場前)



平成17年初詣 縁起物のご案内



特大福迎え
初穂料10,000円



福迎え(大)
初穂料2,000円



福迎え(中)
初穂料1,500円



特大 鎗矢 初穂料3,000円
鎗矢 初穂料1,500円



しょうふくせん
招福扇
初穂料1,000円



絵馬矢
初穂料800円
宗写真は昨年のものです



ミニ熊手
初穂料700円

破魔矢

元来は「弓」と「矢」をセットにして、男児の初正月を祝った縁起物ですが、現代では「矢」のみで「魔除け」「除魔開運」として初詣の参拜者に特に人気があります。

福迎え

「熊手」に「お多福」「千両箱」「大福帳」をつけたもので、「福を掻き込む」「福を迎い入れる」と言われ、商売の方が特に受けられます。

一刀彫 2,000円

楠を素材に、その年の干支を1本のノミだけで奉製するため「一刀彫」と称します。当社は伊勢の彫師に製作を依頼し、1年かかりで2,000体を奉製していただいております。十二支一通り揃えると願いが叶うといわれております。

数に限りがありますので、お早めにお受け下さい。



平成17年初詣御守・御札のご案内

交通安全カード守
初穂料 500円



開運守
初穂料 1,000円



健康・家内安全守
初穂料 1,000円



えんむすび守
初穂料 1,000円



肌守
初穂料 1,000円



キーホルダー守
初穂料 1,000円



千支守(小袋)
初穂料 500円



千支守(天然石)
初穂料 500円



ランドセル守
初穂料 500円



ミニランドセル守
初穂料 500円



交通安全扇守
初穂料 1,000円



守護夫守 初穂料
1,000円



剣先守 初穂料
600円



木札守(中) 初穂料
800円



木札守(小) 初穂料
600円



金幣守 初穂料
1,000円



新型守 初穂料
1,000円



(大) 初穂料3,000円



(中) 初穂料2,000円



(小) 初穂料1,000円



宗像大社神符 初穂料 800円



神宮大麻 初穂料 800円



諸願神符 初穂料各1,000円

第五二一回

宗像大社歌会詠草

大野展男選 毎月25日メ切



大島 杉田 禮子

それぞれのひと目を終えて村の湯に浸れば湯舟は笑い溢るる

〔評〕湯に居る人は皆顔見知り、肌のふれ合う噴燥のなかの生命の洗濯である。

福岡 香月 照子

受話器よりあの懐かしき声のする学生時代思ひ出させて

〔評〕時空を越えて学生時代に戻る至福のひとときである。

日ノ里 石松 弘次

またも来し年賀欠礼のハガキ手に友人先達のかんばせ浮かぶ

〔評〕こんな処にも加齢を思わせるものがある。己の健康度合を沁々と思う作者である。

大井 木原 ふさ子

こわきものなべて怪獣といふ幼閃魔の像に近寄るとせず

〔評〕怪獣を通じて無限の夢をひろげ得る幸福な年令である。

池田 森 龍子

葉を洗ふ水にも秋の兆しあり湿りたる手に風柔らかし

〔評〕「ころ」と新しが洗ふ初夏の命のはづみ離めながら」と詠った、南津さゆりさんはまた五十年代、おのずと年令の現われる短歌は怖い。

鐘崎 安永 久子

繰返し茶飲み友と語りをり秋のひと目をあきる事なく

〔評〕暖い日差しの下で語り合う友のある事の幸せ

東旭ヶ丘 天野 玲子

小春日にあまた布団を広げ干す小さき幸せ例えようなし

〔評〕秋日に布団を広げ干すことを幸せと詠う作者は万の悲しみ知っているのだろう。

津屋崎 佐々木 和彦

みなみの稜線うすみ色になり霜月尽の夜の明け近し

〔評〕初句、例えば青嵐山など山の名が出ると、ひろがりのある絃景歌となつたに残念。

田野 森 甲子

水書や地震もあはずアイケアで友と巡りぬ大社菊花展

〔評〕中越地震などに思いを馳せながら今の幸いをかみしめている作者である。

田野 森 つるの

神仏を崇敬しおる孫の居て吾家の後継安泰なりき

〔評〕崇敬の念の深い家族である。うらやましい。

福岡 池浦 千鶴子

救急車のサイレン遠く聞かば父の逝きたる初冬を思ふ

〔評〕父も救急車の世話になったのだろうか、悲しく切ない音である。

朝野 藤井 浩子

それぞれに友の多くて吾ら姉妹共に旅することの叶はず

〔評〕原作には四姉妹とあったが、四姉妹それぞれに多くの友のあることの幸せのなかの嘆き、それは加齢のせいかもしれない。

田熊 有田ゆり子

楠の木の落す古葉を掃く人の風に逆らふことなく動く

〔評〕自然には逆らわない練達の人の動作には無駄が無い。それを詠う人もまた練達の人である。

光岡 森田富佐子

失せしもの七度さがせと人は言ふ吾は呆けしか入れ処忘るる

〔評〕忘れることは神様が人間に与えた休憩時間だと、私は思っている。

浮羽 向 則正

天変地変の世癒したくピアノスト葬送の曲涙して弾く

光岡 佐藤 純一

苦を除き幸福もたらせ美声なる如意宝珠もつ如意輪観音

日ノ里 相川健太郎

一年はつらき日日にてありたりき思ひ出はみな寒風に似る

日ノ里 大和美由紀

小刻みに揺るるリフトに腰かけて紅葉盛りを眺めて上る

選者 詠

手術後の妻の歌稿を代筆しどろもどろの歌と思ひて

台風荒れて過ぎたり魚屋に大き秋鯖今日並びつ

秋の陽の当る畳に寝ころびて徒然草読む吾のつれづれ



宗像大社歌会 俳句作品集(四九六)

日ノ里 花田いつ枝

高原の星さえざえと大きかり

光岡 井上 嘉治

納骨の聖堂に立冬風淋し

光岡 白土 凌一

楽しきや心も踊るみかん狩り

東郷 宗風社俳句会

眼帯の隙間にのぞく秋趣くを

吉田 杏子

葛咲くや英彦の坊跡風抜ける

三浦美千代

かささぎの高さ羽音や寝待ち目

田中 雨葉

秋の風傾くままの石佛

木原 房子

ゆるき歩にあるく湖畔の草紅葉

編集後記

明けましておめでと うございませう。本年は酉年です▼慌しい日常生活を送っていると「振り返る」ということが出来ませんが、去年の自分より成長しているのか、三年前の自分よりはと、振り返り未来の青写真を描くには年頭の今が一番ではないでしょうか▼回顧が済みましたら、宗像大神の御神前で本年の誓いを新たにして下さい。そして酉年に相応しい飛躍の年となりますことを御祈念申し上げます▼小生、最近確実に、白髪が増え、おでこの面積、お腹周り、この三点だけは順調に成長しています。どうかこの点だけはあまり飛躍しませんように▼本年も社報「宗像」をよろしくお願い申し上げます。(M・O)

宗像大社社務所 発行所

〒811-3505 福岡県宗像市田島
電話 0940-62-1311(代)
発行人 伊藤佳和
編集人 大塚宗延
制作 ジーエータップ
印刷 セネラルアサヒ

定価1年送料共1,000円